

# 日本キャリアデザイン学会 2010 年度総会

## 配 付 資 料

日 時 2010 年 10 月 23 日(土) 17:00~17:45 (終了予定)

会 場 神戸学院大学 ポートアイランドキャンパス B 号館 B-302

司会 川崎友嗣 理事

### — 次 第 —

1. 開会の辞
2. 議長選出
3. 事業報告
  - ・ 2009 年度事業報告 . . . (資料 1)
  - ・ 活動日誌 . . . (資料 2)
4. 議決事項
  - 第 1 号議案 2009 年度決算の件 . . . (資料 3)
  - 第 2 号議案 学会規約改正の件 . . . (資料 4)
  - 第 3 号議案 新役員承認の件
  - 第 4 号議案 2010 年度事業計画の件 . . . (資料 5)
  - 第 5 号議案 2010 年度予算案の件 . . . (資料 6)
5. 2011 年度研究大会・総会の件 . . . (資料 7)
6. 新役員紹介
7. 閉会の辞

以上

※引き続き「新会長による講演会」(17:50~18:50 予定)を開催します。

## 資料 1. 2009 年度 事業報告

### 1. 会員数の推移

正会員数は昨年比で 75 名増加、賛助会員は昨年比で 1 団体(名)増加、全体では 76 名増加し会員数は、1,087 名(昨年比 107.5%)となった。

会員状況 (2010 年 10 月 1 日現在)

会員種別	2007 年	2008 年	2009 年	2010 年度	前年比
正会員	640	695	714	788	74
正会員(院生)	81	101	99	100	1
学生会員	23	25	25	25	0
賛助会員(個人)	112	126	131	136	5
賛助会員(団体)	44	46	42	38	-4
合計	900	993	1011	1087	76

### 2. 委員会活動

2009 年度は、前年度に続き会長の意向により、研究組織委員会の各委員長等を中心とした委員会活動による学会の活性化と、学会員へのサービス向上を図ることを方針として活動した。

#### (1)研究企画委員会

久保田慶一委員長のもと、4 回の研究会を開催し、会員以外の方からも多数の参加を得た。

#### (2)機関誌編集委員会

川崎友嗣委員長のもと、機関誌『キャリアデザイン研究 Vol.6 』を 10 月 20 日に発行した。投稿論文等の数も 25 件と過去最高となり、審査の結果 15 件の論文等を掲載するにいった。

#### (3)広報委員会

山野晴雄委員長より示された方針により、従来実施していた月 1 回のニュースレターの発行、2 ヶ月に 1 回程度のメールマガジンの発行に加え、①ニュースレターへの研究会の発表要旨の掲載、②ホームページへの役員による「私のキャリアデザイン論」の掲載、を行った。なお、メールマガジンは、8 月 16 日に第 100 号を発信した。

(4)関西支部

中村恵支部長のもと、支部大会 1 回、支部主催研究会を 3 回開催し、多数の方の参加を得た。

3. その他の活動

(1) リーダー層によるキャリア勉強会開催

役員による勉強会を 1 月 9 日の研究会に合わせて開催した。

(2)「キャリアデザイン研究奨励金」

前年度総会で決定した研究奨励金の規程を制定すると共に、第 3 回の募集をホームページにて公募した。第 2 回の助成研究の成果は、第 7 回研究大会にて発表する。

4. 決算は、ほぼ予算どおりで処理できた。

## 資料 2. 活動日誌

### 日本キャリアデザイン学会活動報告（2009 年度）

行事等	日付	主な内容	場所
基本文献解題編集委員会		学会刊行書籍 『キャリア研究を学ぶ:27冊を読む』	
ニュースレター	2009年10月15日	キャリアデザイン・ニュースレター 第61号	
学会タイアップ企画	2009年10月21日	『教育学術新聞第2377号』「キャリアデザインの時代1」立教大学 渡辺三枝子氏	
学会タイアップ企画	2009年10月28日	『教育学術新聞第2378号』「キャリアデザインの時代2」立教大学 加藤敏子氏	
関西支部	2009年11月3日	関西支部大会 兵庫県立西宮香風高校 中村忠生氏、辻調理師専門学校 尾藤 環氏、甲南大学 野口由輝子氏	関西大学
学会タイアップ企画	2009年11月4日	『教育学術新聞第2379号』「キャリアデザインの時代3」川崎友嗣氏	
学会タイアップ企画	2009年11月11日	『教育学術新聞第2380号』「キャリアデザインの時代4」山梨学院大学 土橋久忠氏	
広報委員会	2009年11月12日	広報活動全体、HP、ニュースレター、メールマガジン、他	法政大学
ニュースレター	2009年11月16日	キャリアデザイン・ニュースレター 第62号	
学会タイアップ企画	2009年11月18日	『教育学術新聞第2381号』「キャリアデザインの時代5」武蔵野大学 遠山久敬氏	
研究企画委員会	2009年11月20日	第1回研究企画委員会 この一年間の反省、今期の分担、他	法政大学
学会タイアップ企画	2009年11月25日	『教育学術新聞第2382号』「キャリアデザインの時代6」法政大学 川喜多喬氏	
関西支部	2009年12月12日	関西支部研究会 パナソニック電工滋賀（株） 宮内義勝氏	キャンパス プラザ京都
ニュースレター	2009年12月15日	キャリアデザイン・ニュースレター 第63号	
役員・研究組織委員勉強会	2010年1月9日	役員・研究組織委員勉強会	法政大学
研究会	2010年1月9日	第1回研究会 中村中学校・高等学校 前岡克美氏 他	法政大学
ニュースレター	2010年1月15日	キャリアデザイン・ニュースレター第64号	
メールマガジン	2010年1月18日	キャリアデザインマガジン 第90号発行	
メールマガジン	2010年2月1日	キャリアデザインマガジン 第91号発行	

機関誌編集委員会	2010年2月10日	学会機関誌『キャリアデザイン研究 Vol. 6』の編集について	法政大学
ニュースレター	2010年2月15日	キャリアデザイン・ニュースレター 第65号	
関西支部	2010年3月6日	関西支部研究会 関西大学 森田雅也氏	関西大学
ニュースレター	2010年3月15日	キャリアデザイン・ニュースレター 第66号	
常務理事・研究組織委員長合同会議	2010年3月20日	第1回常務理事・研究組織委員会委員長合同会議 第7回研究大会・総会、役員選挙の実施、各委員会の活動、その他の活動、他	法政大学
研究企画委員会	2010年4月10日	第7回研究大会のテーマについて、その他	法政大学
研究会	2010年4月10日	第2回研究会 ㈱ライトマネジメントジャパン柳田 充宏氏 和光大学 坂爪洋美氏	法政大学
メールマガジン	2010年4月12日	キャリアデザインマガジン 第92号	
ニュースレター	2010年4月15日	キャリアデザイン・ニュースレター 第67号	
メールマガジン	2010年4月26日	キャリアデザインマガジン 第93号	
メールマガジン	2010年5月11日	キャリアデザインマガジン 第94号	
ニュースレター	2010年5月14日	キャリアデザイン・ニュースレター 第68号	
メールマガジン	2010年5月24日	キャリアデザインマガジン 第95号	
常務理事会	2010年5月28日	第7回研究大会について	法政大学
メールマガジン	2010年6月7日	キャリアデザインマガジン 第96号	
メールマガジン	2010年6月14日	キャリアデザインマガジン 第97号	
ニュースレター	2010年6月14日	キャリアデザイン・ニュースレター 第69号	
研究会	2010年6月26日	第3回研究会 東京大学 本田 由紀氏	法政大学
メールマガジン	2010年7月5日	キャリアデザインマガジン 第98号	
ニュースレター	2010年7月15日	キャリアデザイン・ニュースレター 第70号	
関西支部	2010年7月24日	関西支部研究会 首都大学東京 林 祐司氏	新大阪丸ビル新館
メールマガジン	2010年7月29日	キャリアデザインマガジン 第99号	
選挙管理委員会	2010年8月7日	理事選挙開票	法政大学
メールマガジン	2010年8月16日	キャリアデザインマガジン 第100号	
ニュースレター	2010年8月16日	キャリアデザイン・ニュースレター 第71号	
研究会	2010年8月28日	第4回研究会 北九州市立大学 見館好隆氏	

ニュースレター	2010年9月15日	キャリアデザイン・ニュースレター 第72号	
常務理事会	2010年10月2日	第7回研究大会について、2009年度決算・事業報告について、学会規約の改正について、その他	学士会館
役員選任会議	2010年10月2日	会長選出、2010年度活動方針、その他	学士会館
ニュースレター	2010年10月15日	キャリアデザイン・ニュースレター 第73号	

資料 3. 2009 年度 決算承認の件

資産・負債別／科目				備 考
資産の部	流動資産	普通本口(三菱東京 UFJ)	3,630,358	
		普通大会口(三菱東京 UFJ)	524,051	
		普通関西大会口	142,072	
		郵便貯金	80,347	
		未収入金	0	
		前払費用	199,500	
		仮払金		
		流動資産合計	4,576,328	
資 産 合 計		4,576,328		
負債の部	流動負債	未払金	122,800	
		前受金	513,000	
		預かり金	15,555	
		流動負債合計	651,355	
	負 債 合 計		651,355	
正 味 財 産 の 部			3,924,973	
(うち当期収支差額)			201,155	
負債及正味財産合計			4,576,328	

日本キャリアデザイン学会 2009 年度支計算書

2009 年 10 月 1 日～2010 年 9 月 30 日

科目別	決算額	予算額	差額
I. 収入の部			
会費収入	8,441,100	8,000,000	441,100
大会会費収入	9,000	2,000,000	-1,991,000
研究会参加費収入	393,000	200,000	193,000
研究誌等販売収入	156,750	50,000	106,750
関西支部収入	0	200,000	-200,000
その他事業収入	21,000	0	21,000
受取利息	783	3,000	-2,217
当期収入計 (A)	9,021,633	10,453,000	-1,431,367
前期繰越資金	3,723,818	4,031,420	-307,602
収入合計 (B)	12,745,451	14,484,420	-1,738,969

科目別	決算額	予算額	差額
II. 支出の部			
大会関連支出	0	2,500,000	-2,500,000
雑給			
旅費交通費			
通信費			
諸謝金			
会合・懇親会費			
印刷代			
会場費			
関西支部支出	440,397	500,000	-59,603
雑給	12,430		
旅費交通費	70,300		
諸謝金	33,333		
会合・懇親会費	262,440		
会場費	39,620		
消耗品費	20,700		
その他	1,574		
業務委託費	2,340,000	2,200,000	140,000
広告宣伝費	415,800	900,000	-484,200
旅費交通費	467,440	400,000	67,440
通信費・運賃	737,625	600,000	137,625
諸謝金	367,775	350,000	17,775
会合費	243,275	300,000	-56,725
消耗品費	257,509	200,000	57,509
印刷費	2,691,540	1,500,000	1,191,540
支払手数料	243,224	150,000	93,224
諸会費	90,000	90,000	0
研究助成費	423,483	1,500,000	-1,076,517
雑費(雑給含む)	102,410	50,000	52,410
当期支出計 (C)	8,820,478	11,240,000	-2,419,522
当期収支差額(A)-(C)	201,155	-787,000	988,155
次期繰越資金 (B)-(C)	3,924,973	3,244,420	680,553

※神戸学院大学での大会が決算後のため、大会会費収入、大会関連支出は、次年度(2010 年度)に繰り越します。

※なお、すでに入金があった会費収入は「前受金」、大会関係支出で今期中に支払があったものは「前払費用」で計上しています。(前ページ参照)

※会費収入は会員数増加もあり、予算額を 44 万円強上回った。

※広告宣伝費は、学会ホームページ維持管理費用です。

※印刷費が予算を大幅に上回ったのは、入会案内のリニューアルおよび増刷費用(641 千円)、会員名簿作成、印刷(439 千円)のためです。

※研究助成費は助成件数が、1 件のため予算額を下回りました。



## 資料 4. 日本キャリアデザイン学会 学会規約改正案

### 改正趣旨

会員が 1000 名を超える規模になったため、組織の運営体制を強化することを目的し、副会長を増員する。

改正後	改正前																												
<p>(役員)</p> <p>第 10 条 本会に次の役員を置く。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">会 長</td> <td style="text-align: right;">1 名</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">副会長</td> <td style="text-align: right;"><u>3</u>名</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">常務理事</td> <td style="text-align: right;">5 名以内</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">理 事</td> <td style="text-align: right;">2 0 名以内</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">事務局長</td> <td style="text-align: right;">1 名</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">研究組織委員</td> <td style="text-align: right;">若干名</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">監 事</td> <td style="text-align: right;">2 名以内</td> </tr> </table>	会 長	1 名	副会長	<u>3</u> 名	常務理事	5 名以内	理 事	2 0 名以内	事務局長	1 名	研究組織委員	若干名	監 事	2 名以内	<p>(役員)</p> <p>第 10 条 本会に次の役員を置く。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">会 長</td> <td style="text-align: right;">1 名</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">副会長</td> <td style="text-align: right;">1 名</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">常務理事</td> <td style="text-align: right;">5 名以内</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">理 事</td> <td style="text-align: right;">2 0 名以内</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">事務局長</td> <td style="text-align: right;">1 名</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">研究組織委員</td> <td style="text-align: right;">若干名</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">監 事</td> <td style="text-align: right;">2 名以内</td> </tr> </table>	会 長	1 名	副会長	1 名	常務理事	5 名以内	理 事	2 0 名以内	事務局長	1 名	研究組織委員	若干名	監 事	2 名以内
会 長	1 名																												
副会長	<u>3</u> 名																												
常務理事	5 名以内																												
理 事	2 0 名以内																												
事務局長	1 名																												
研究組織委員	若干名																												
監 事	2 名以内																												
会 長	1 名																												
副会長	1 名																												
常務理事	5 名以内																												
理 事	2 0 名以内																												
事務局長	1 名																												
研究組織委員	若干名																												
監 事	2 名以内																												

## 資料 5. 2010 年度 事業計画の件

### 1. 当学会の問題意識と基本的な考え方

#### (1) 研究活動

学会設立時には、キャリアデザインという言葉はむろん、キャリアという言葉すら、もの珍しかった。今日、学校や事業組織、政府自治体の政策などに、キャリアデザインという言葉は広汎に使われるに至っている。しかし、その意味は多岐にわたっており、学会としての用語を定義するなど、キャリアに関する基礎研究を推進する必要がある。また、厳しい状況下ではあれ遅く人生を切り開いている人々の営為の発掘と科学的モデル化へのステージに、あらためて実務家と研究者との協働作業で向かうべきである。

#### (2) 社会的活動

従来キャリアに関する問題は、個人の問題として捉えられていた。しかし、現下の経済の混乱と不確実、雇用の危機と不安定、教育の遅滞と不適応、いずれをとっても、社会構造の問題として捉えることが必要になっている。そのためには、学会としても現行のキャリア政策とその結果について研究・検証を推進することが求められている。さらに学会として、キャリア政策に関して積極的な発信を行っていきたいと考える。

#### (3) 地域活動

キャリアを社会構造の問題として捉えた場合、政策以外にも地域性に着目する必要がある。今後は、関西支部だけではなく、中京支部の設立、その他地域での交流会を促進し、地域を基盤としたキャリア・プロフェッショナル全般の資質向上を推進していく必要がある。

#### (4) 政策提言活動

今後、当学会としてキャリア政策への関与が必要であると考えている。近年の経済産業省、厚生労働省、文部科学省の雇用やキャリア政策の動向には、懸念される課題が多いという印象が否めない。キャリアを学際的に研究する研究者や実務家の多い当学会として、キャリア政策に対して提言を行っていきたいと考える。

#### (5) 学会の運営体制の強化

昨年度、既に 1000 人を超えた当学会が上記 3 つの活動を行うために、運営組織を見直すことで、より一体化した活動を推進し、柔軟に対応できる運営体制へと強化を図る必要がある。そこで、副会長の増員と担当制を導入し、理事による研究組織委員会の活性化を図っていく。

## 2. 今期および中期的活動計画

### (1) 研究(戦略)企画

研究(戦略)委員会を新たに設置し、学会が目指す研究活動・社会活動等の方針を策定する。また、問題意識を深め、共有するために、役員による勉強会を実施する。

### (2) 研究組織委員会の活動

各委員長を中心として委員会活動を推進する。

#### ①研究会企画委員会

従来どおり、隔月 1 回の研究会開催を基本として、タイムリーな企画があれば適宜開催する。また、**2011** 年度大会を日本大学法学部(千代田区三崎町)において開催する。

なお、例えば「大学職員のキャリア支援」や「企業におけるキャリア支援」などテーマ別交流会や、違う立場でキャリアに関っている方による勉強会などの開催についても検討し、会員交流の活性化を促進したい。

#### ②機関誌編集委員会

現在年 1 回発行している機関誌について、年 2 回の発行または電子媒体による発行を検討する。なお、機関誌のバックナンバーについても、電子図書館化を模索していきたい。

#### ③広報委員会

毎月 1 回のニューズレターの発行、隔月 1 回程度のメールマガジンの発行については従来どおりとしたい。また、ホームページについては、研究会発表者による要旨の掲載、事例や実践報告の募集と掲載を充実したい。

また、会員自己紹介のためのコーナーを公募し充実させるなど、会員相互の交流促進にも取り組んでいきたい。

さらに、会員の拡大・組織化を図る活動を推進するための活動も、今期から積極的に着手したい。

#### ④キャリアデザインハンドブック(仮称)編集委員会

基礎研究を推進するために、用語解説、研究(研究者)史、文献目録、技法、事例などの総合ハンドブックの発行に着手したい。

### (3) 地域活動

支部担当副会長を置き、支部長と連携を図りながら支部主催研究会、交流会を開催する。

#### ①関西支部

前年度と同様、年 1 回の関西支部大会、年 3 回程度の関西支部研究会を開催したい。

②中京支部

12 月 4 日に中京支部設立準備会を開催し、中京支部を立ち上げる。

なお、支部規約は関西支部規約に準じることとし、決定は常務理事会に委任する。

③その他

3 月 5 日に北陸地区交流会を開催する。また、その他の地区での交流会を開催したい。

(4)その他の活動

①キャリア政策研究と国際交流の推進

経済産業省、厚生労働省、文部科学省等の推進するキャリア政策の検証・評価を行うと共に、国際的なキャリア政策の動向を調査・研究し、学会としてのキャリア政策を提言するための研究活動を行いたい。

さらに、国際的な研究活動の推進、情報収集等を推進するための英文ホームページの作成にも着手したい。

②会員サービス向上活動

キャリアデザイン・プロフェッショナルの質的向上へ資するための活動として、キャリアデザイン・プロフェッショナルの実態調査、情報収集、情報提供を学会として推進していきたい。

③自主研究の支援・実践事例の収集

会員の研究奨励のため、奨励研究を引き続き公募する。また今まで投稿に依存してきた実践事例を、組織だって収集しニュースレターあるいはホームページを活用して紹介することを検討する。

④会員業績目録の作成

会員相互の研究活動の支援、情報交換に資するため、学会ホームページを利用した会員業績目録のデータベースの構築に着手したい。

⑤他学会等との連携

キャリアに関する研究活動を行っている学会、研究機関、メディア等と連携した研究活動を推進したい。

以上

## 資料 6. 2010 年度 予算案の件

### 日本キャリアデザイン学会 2010 年度予算(案)

2010 年 10 月 1 日～2011 年 9 月 30 日

科目別	2010 年度 予算	2009 年度 決算	差額
I. 収入の部			
会費収入	9,000,000	8,441,100	558,900
大会会費収入	4,000,000	9,000	3,991,000
研究会参加費収入	400,000	393,000	7,000
研究誌等販売収入	170,000	156,750	13,250
関西支部収入	0	0	0
その他事業収入	20,000	21,000	-1,000
受取利息	1,000	783	217
当期収入計(A)	13,591,000	9,021,633	4,569,367
前期繰越資金	3,924,973	3,723,818	201,155
収入合計(B)	17,515,973	12,745,451	4,770,522

※大会関連収支は、2 年分を計上しております。

(神戸学院大会、2011 年度大会)

※中京支部設立に伴い予算計上しております。

※地区交流会開催費は本部予算および予備費を充当します。

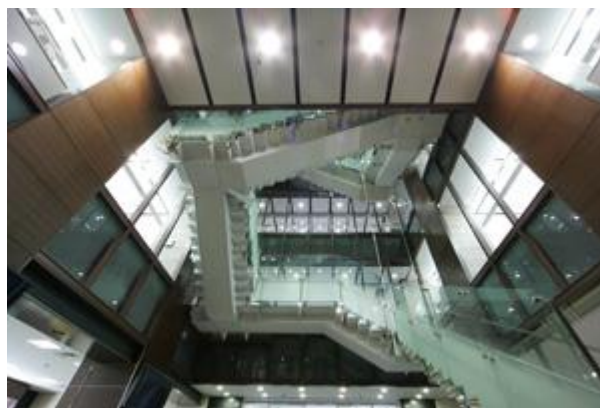
科目別	2010 年度 予算	2009 年度 決算	差額
II. 支出の部			
大会関連支出	5,000,000	0	5,000,000
関西支部支出	500,000	440,397	59,603
中京支部支出	500,000	0	500,000
業務委託費	2,340,000	2,340,000	0
広告宣伝費	420,000	415,800	4,200
旅費交通費	450,000	467,440	-17,440
通信費・運賃	700,000	737,625	-37,625
諸謝金	350,000	367,775	-17,775
会合費	250,000	243,275	6,725
消耗品費	250,000	257,509	-7,509
印刷費	2,200,000	2,691,540	-491,540
支払手数料	200,000	243,224	-43,224
諸会費	90,000	90,000	0
研究助成費	300,000	423,483	-123,483
予備費・雑費	300,000	102,410	197,590
当期支出計(C)	13,850,000	8,820,478	5,029,522
当期収支差額(A)-(C)	-259,000	201,155	-460,155
次期繰越資金 (B)-(C)	3,665,973	3,924,973	-259,000

## 資料 7. 2011 年度研究大会・総会の件

会 場 日本大学 法学部

〒101-8375 東京都千代田区三崎町 2 丁目 3 番 1 号

会 期 2011 年秋



— お問い合わせ —

日本キャリアデザイン学会

〒102-8160

東京都千代田区富士見 2-17-1

法政大学富士見坂校舎 1F

法政大学関連会社 株式会社エイチ・ユー教育事業部内

TEL 03(3264)6129 FAX 03(3264)9568

E-mail: [cdgakkai@hosei.org](mailto:cdgakkai@hosei.org)

URL: <http://www.career-design.org>